

報告日 令和5年7月6日  
報告回次 2日目

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	岡崎市			代表者名	中根 康浩
担当者部署	総合政策部			連絡先電話番号	0564-23-7096
担当者役職	主任主査	担当者氏名	水越 佑一朗	連絡先E-mail	*****
住所	444-8601 愛知県岡崎市十王町二丁目9番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

記
---

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	よい
上記評価の理由（どのようにがよかったです等詳細に）	自治体職員の経験から本市の課題感を的確に理解いただき、講演に向けた認識のすり合わせを円滑に行うことができたため。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月29日	講演(実地)	有	令和5年5月15日	630
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年7月3日	事前打合せ（オンライン）	10時00分	10時50分	
				活動時間（分）	50
派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	○掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	総合政策部デジタル推進課職員	1 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	デジタル人材の育成に向けて研修等の取組を進めているが、DXの必要性や国のデジタル化施策を始めとした社会情勢等を学ぶ研修等を通じて、職員の意識付けはある程度進んできたと思われるものの、DXの推進において重要な事項の一つであるデータ利活用については、何から手を付ければ良いのか分からるのが実情である。今回の支援を本市のデータ利活用に関する取組推進のきっかけにしたい。	

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	データ利活用の重要性や必要性、利活用の手法や事例についての理解を深め、業務改善や市民サービスの向上にデータを積極的に活用していく職員の意識や庁内の機運の醸成が高まること。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	7月11日に実施いただく講演に向けて、現時点で講師が考えている講演の構成や他自治体での同様の講演資料を説明いただきながら、講演内容のすり合わせを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	提示いただいた資料により、講演の内容・構成について理解でき、本市が求める講演内容に合致していることが確認できた。また、本市の状況について説明することで、より本市の実情に沿った講演の実現に向けて認識を共有することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	講演実施日までに完成した講演資料を御提供いただく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演準備段階のためアンケートは未実施。	④予算以外で、今後取組む事項がある 職員のデジタルリテラシーが向上し、デジタル技術を活用した業務改善や市民サービス向上に向けた取組を推進できる。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	
事業の最終的な目指す姿	職員のデジタルリテラシーが向上し、デジタル技術を活用した業務改善や市民サービス向上に向けた取組を推進できる。	

なお「その他」を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

